

あめんぼ通信



ホームページアドレス www.aikawasizen.net

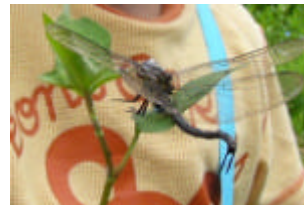
この会報の発行費用の一部は、(財)イオン環境財団の助成によるものです。連絡先: 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6205 TEL 046-284-2121

上記連絡先は11月まで。以後は未定です。

里山の 秋 をたのしむ

9月6日 “赤とんぼ のむれを追って” 尾山耕地散策 参加者18名

のどかな八菅の里山づくり実行委員会(当会参画)



草にとまったまま死んでいる
トンボを見つけました。

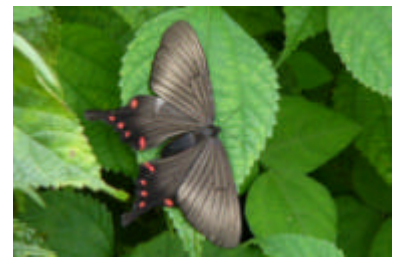
なにトンボかな?

昆虫大好きな就学前のお子さんが「ギンヤンマ!」。胸の色など似ているところもあるし、確かにここにはギンヤンマもいます。図鑑で調べると、カトリヤンマでした。

オニヤンマは、水路や水田の上をすばやく往ったり来たりしていました。

アカトンボは人なつこく頭や手に止まって一休み。写真:

手に止まったアキアカネ。
葉の上にはジャコウアゲハ。
「このイナゴはまだ青っぽいから食べられないね」と、イナゴ談義にぎやかな散策。



中津川の土手沿い水田側に車道幅7メートル・歩道3メートルの町道が出来るとお話すると、「こんな良いところに町道が出来るとは知らなかったわ。排気ガスで生き物たちに良くないでしょう? そんなにお金かけてつくる必要があるとは思えないわね。」との声。年配の女性も、一緒に歩いてうなずきながら、「私も半原だけど、町道って、そんな要望あったの?」。もうすぐ工事着工の今、これが普通の町民の声なのでしょう。

今後の里山企画 集合: 午前10時 ・解散: 12時ごろ *各企画参加費 無料*雨天順延を除いて、雨天中止 各集合場所

11月 2日(日) 草紅葉をたのしむ <雨天順延3日> 尾山耕地散策 八菅橋西側たもと

11月 29日(土) 落ち葉かきとどんぐり拾い<雨天順延30日> 八菅山 八菅神社鳥居前

12月 7日(日) 自然観察会: パードウォッチング 八菅山 八菅神社鳥居前この企画まで当会は里山実行委員として取り組みます。

9月13日 修験者ウォーク



八菅神社鳥居前で氏子総代の矢後忠良さんのお話を聞いてから、修験者の修行の道をたどりました。矢後さんのお話：

写真中：神社の前からまっすぐのびる石段は、冬至に太陽が昇る方向になっている。太陽信仰と考える。お正月の参拝者が、石段から日の出を望む方向にもなる。

写真右：むかしの人々も草や木を大切にしていた、今の自然に対する心にも通じると思う。



写真左：尾根から山道に入ります。

写真中：中津川を背にした断崖の上に建つ石神社。その脇を抜け修行場の大きな石へ。右手下に中津川。しっかりつかまらなると滑落しそう。慎重に左の岩（石）に上ると、平らな修行の場にたどり着きます。

写真右：幣山集落を抜けて、丸山耕地を歩き、海底（おぞこ）を通り塩川滝に向かいました。その昔、修行は冬だったそうです。今回の八菅山修験者ウォークは秋晴れの里山を歩き、歴史に浸った一日でした。

尾山耕地昆虫調査より



9・19

いろいろな草を食べる
マメハンミョウ

10・10

稲刈りの終わった水田の土の上に、
小さなホシクサとイチョウウキゴケ

厚木愛甲ゴミ処理広域化計画

意見は10月31日まで。最終処分地については、清川村の次は愛川町。説明会では、「愛川町のどこに作るの？作れる場所って見当たらない。」の質問と意見。広域化になれば、自区内処理の為に3市町村の最終処分地を決める。それまでに劇的に焼却ごみが減らしたら別ですが。町道幣山下平線周辺は第一候補になるのでは？立派な道路も出来て、厚木市はすぐ隣。大型焼却施設から最終処分地に直行できる所は、他にはそうそう見当たらない？

あいかわ自然ネットワーク定例会

11月3日午後1時半～5時

中津公民館2階 茶室

協議事項

- ・事務局大木の転居に伴う事務局体制、及び、今後の活動、臨時総会検討について。
- ・事務局態勢 住所・連絡先の変更
- ・理念ビジョン、活動方針、規約の見直し役割分担

他

* 今後の活動態勢について検討する重要な会議になりますので、出来る限りご出席をお願いいたします。

2003年8月18日付けあいかわ自然ネットワークからの要望に対する町からの回答
貴重種の生息する八菅山・尾山耕地・中津川周辺の里地里山環境生物多様性・生態系保全、及び、この地を縦断する町道幣山下平線計画について質問しました。

要 望 内 容	回 答
車両のライトによる影響を回避するため、全線にわたり遮光壁等を設置する。	遮光壁につきましては、供用開始までに相当の時間を要しますことから、有効性等を含め、今後検討いたします。
道路の照明による影響を回避するために、遮光壁以下の路面を照らす範囲に設置する。	道路照明につきましては、青木教授からの提言に基づき、「道路照明は、必要最小限とし、誘因性の低い赤黄色系の灯器を使用する。」ことにしております。御要望の内容につきましても、今後検討いたします。
上記2点は、全体的な貴重種生息環境保全策の検討にかかる課題でありますことから、今年予定されている工事着工を延期し、その対策について再検討する。	遮光壁と道路照明の問題につきましては、事業を進めながら検討することが十分可能でありますことから、現時点において工事着工（第 工区橋梁）を延期する必要はないものと考えております。
町道幣山下平線町民説明会を橋梁部着工前に開き、町民の十分な意見聴取と議論を経て、合意形成を図っていただくようお願いいたします。	幣山下平線整備事業は、宮ヶ瀬ダム対策要望 事項147項目の一つでもあり、総合計画、都市マスタープランの策定時におきまして、町民の意見や総合計画審議会、議会の賛同をいただき、整備計画を策定したものであります。 また、平成12年5月には本事業の推進を求める陳情が議長宛て提出され、6月議会定例会において採択されており、町民には、本路線の必要性を認識していただいているものと考えております。なお、直接影響を受ける関係地権者に対しましては、線形変更前・後に事業説明会を開催し、ほとんどの方の賛同を得ており、用地買収にも御協力をいただいているところであります。 したがいまして、改めて町民説明会を開催することは考えておりません。

愛川町・町議会議員選挙(10月5日)・立候補予定者の皆様にアンケートをお願いしました。

当会は特定の公職選挙立候補予定者、当選者を支持支援していません。

お忙しい中、2003年9月25日までに立候補予定者26名中、11名から回答を頂きました。結果を集計後、当会のホームページに掲載。詳しくは、そちらをご覧ください。以下、質問要約と結果。

1. 新・生物多様性国家戦略の内容をご存知？
2. その国家戦略に、身近な里地里山環境が開発行為で危機に瀕しているとおあるのをご存知？
3. 尾山耕地周辺の生物多様性・生態系保全と再生を、積極的にすすめるべき？
4. 生物多様性・生態系保全の視点から町道幣山下平線建設着工を延期し、計画を見直す必要は？
5. 町道幣山下平線の説明会と意見聴取の機会がない。行政の説明責任は果たされていると思う？
6. 弊山に産業廃棄物・中間処理施設計画。町道幣山下平線は産業廃棄物のトラック多く通る予定をご存じ？
7. 環境保全型農業推進への支援策は必要？
8. 望ましい尾山耕地周辺の里地里山環境保全の施策。自由記述

その他、環境課題(ごみ処理広域化など)についてのお考えがありましたら、ご自由に。

結果からわかったこと

* 生物多様性条約は日本も締約国。しかし、この課題を理解している方が少ないことがわかりました。これは愛川町だけではなく、日本全体の状況でしょう。地球温暖化は、同じ地球サミットで課題とされ、神奈川県でも温暖化防止活動に市民の推進員を募集して取り組んでいますが、生物多様性・生態系保全については、すすんでいないのが実情です。私達の活動が理解されないのも、無理からぬこと。町道幣山下平線については、半数近くの方々が今秋の工事着工を延期しなくてよいとする反面、町民説明会が開かれていない町道計画推進のプロセスは、説明責任がはたされていないと思う方が圧倒的多数でした。今後の町議会のゆくえに注目！ (以上文責大木)

情報掲示板



定例会は 11 月 3 日午後 1 時半～5 時中津公民館

10月26日(日) 相模原市博物館日曜講演会

田んぼと里山をいかす 守山 弘さん(東京農業大学客員教授)

14時～16時 (開場13:30) / 博物館地階大会議室 無料



10/10 稲刈り時期の尾山耕地

田んぼは、数千年にわたる稲作の歴史の中ではぐくまれ、その周辺環境の里山と併せ、地域の自然環境を形づくってきました。しかし、この半世紀ほどの間に、農村をとりまく社会環境は著しく変化し、多くの人にとって共通の原風景の一つである田んぼと里山のつながりは衰退しつつあります。こうしたふるさとの風景を、農地としての機能を失わずに保全し、地域おこしにつなげていくにはどうすればよいのか、農村の経済や資源の利用、そして生態学の見地から農村環境の保全を、市民活動の実践例をとおして解説します。

11月15日(土)-12月13日(土)

「カワラノギクと河原を守るために-カワラノギクを通して調査の手法を学ぶ-」

場 所：明治大学【明治大学リバティ・アカデミー 講座ピックアップ】

倉本 宣 主 催：明治大学リバティ・アカデミー事務局

連絡先：TEL:03-3296-4423 FAX 03-3296-4542 <http://academy.meiji.jp/>

11月6日 13:00～17:30 千駄ヶ谷：津田ホール 無料

国際フォーラム「持続可能な自治体作りへの新しい提案」

基調講演 『自治体が輝く時代』 池谷奉文 (財)日本生態系協会会長

講演1 「これからの発展ー スマートグロース ー」ジェーン・ニシダ

下米メリーランド州環境省長官

講演2 「コンパクトで活力あふれるまちづくり」ブリギッテ・ルス・シェラー

独チュービンゲン市長

講演3 「新しい日本をつくる地方自治のちから」石渡徳一 鎌倉市長

講演4 「シティマネイジャーと市民が取り組むまちづくり」穂坂邦夫 志木市長

総括 海道清信 名城大学都市情報学部教授

問い合わせ。申し込み (財)日本生態系協会 持続可能な自治体づくりフォーラム係り

TEL 03-5951-0244 FAX 03-5951-2974 URL:<http://www.ecosys.or.jp/eco-japan/>

主催 (財)日本生態系協会 後援 環境省 国土交通省 農林水産省 東京都 日本ビオトープ管理士会

<編集後記>

私事ですが、12月以降、事務局とともに、会報編集も難しくなりそうです。どなたかにお願いいたします。夫が町外に転居予定。私は町外への転居をためらったものの、9月に受けた基本検診で、心臓病が見つかった為、そうもいなくなりました。体調に気がかりがあつては、先々を考えると経済的に自立して一人で留まるのは難しい。いずれにしろ自分の治療費用のためにも働くひつようがあります。会報編集ぐらひは担えるかと思つていましたが、転居後はパソコンを使える状況ではなさそう?..です。

<あいかわ自然ネットワーク会報>

あめんぼ通信 12 発行日 2003年10月24日

会費

・振替口座名 : 名称 あいかわ自然ネットワーク

・口座番号 : 00210-1-69500

・会費 : 賛助会員(会報・案内送付)1,500円

会員2,000円 家族会員 2000円 学生会員 500円

申し込み・問い合わせ:あいかわ自然ネットワーク事務局 大木悦子

〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6205

TEL 046-284-2121 e-mail mail@aikawasizen.net

上記 連絡先は11月まで。以後は未定です。

<編集>

編集 吉川久美子 大木悦子

